

ばっけ



第102号
発行 令和4年7月
放送大学秋田学習センター
TEL 018-831-1997



イギリスは「人類の聖なる避難所」であり続けられるか？ —アサイラム(asylum庇護)を求める権利—

放送大学秋田学習センター客員准教授 大西 洋一



19 世紀の歴史家トーマス・マコーリーがイギリスは「人類の聖なる避難所」であると語っていたように、母国を追われた多数の人々がこれまで英国に安住の地を見出そうとしてきた。宗教的・政治的迫害を逃れてきたユグノー教徒などの大陸のプロテスタントやロシアおよび東欧諸国のユダヤ人たち、そして飢饉による経済的困窮のために国を離れたアイルランド人移民など、苦しむ人々を受け入れる寛容さを英国国民は常々誇りとしてきたのだ。だがその一方で、増え続ける移入者が社会的な摩擦を生み、人種的偏見と差別的待遇が生じて多くの軋轢と衝突が人々の間に起こったというのも多文化・多人種の英国の歴史的現実である。最近では2016 年の EU(欧州連合) 離脱をめぐる国民投票の際に、英国に押し寄せる移民の問題が争点となったことが記憶に新しい。

さて、2022 年 2 月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻で祖国を追われた人々の数は、770 万人を越えるという(国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) ホームページの 6 月 16 日現在のデータより)。ヨーロッパの近隣諸国をはじめとして世界各国に彼らは避難しているが、イギリス政府もまた「ウクライナの人々に住まいを」(“Homes for Ukraine” Scheme) という支援事業を立ち上げて引受人を募り、名乗り出た一般家庭等で避難民を受け入れている。対策を立てるのが遅いとの批判はあったが、この事業により発給されたビザは 6 月 14 日現在で約 88,000 件に達した。4 月中旬に放送された BBC のニュースでは、私がかつて住んでいた北イングランドの都市リーズ近郊の小さな町で避難家族を迎え入れている様子を伝えていた。このように、英国全土においてウクライナからの避難者があたたかく受け入れられていることは想像に難くない。

しかしながら、このニュースを見た数日後に私は愕然とした。イギリス政府が 4 月 14 日に発表した「庇護申請者」(asylum seeker、庇護(asylum)を求める人(seeker)、すなわち「亡命希望者」のこと)に対する施策を知ったためである。今も紛争や人道危機が続く国々(たとえばアフガニスタンやシリアやイラク)から来た難民にとってイギリスが魅力ある目的地であることにつけ込んで、人身売買業者が多数の「庇護申請者」を小型ボートやトラックで不法入国させることが近年大きな国際問題となっていた。その抑止策として、非合法な手段でイギリスに入った亡命希望者の一部を片道切符のフライトでアフリカ東部のルワンダに送り、そこで難民申請の審査手続きを行う(その後で英国に戻されることはない)というのである。1994 年の民族虐殺に対する対抗で生まれたポール・カガメ大統領の政権が独裁的性格を帯び、今では人権状況に関して大きな懸念が生まれている、あのルワンダである。この施策に対しては、イギリス国内でもカンタベリー大主教や野党の労働党および多数の人権擁護団体などからその非人道的な政策を非難する声が上がった。しかし政府はこの計画を推し進めて、ルワンダへの第一便を 6 月 14 日に出発させる予定であったが、欧州人権裁判所の介入による法的措置によりすんでのところで中止となった。だが、この「庇護申請者」をめぐる問題は今後も予断を許さない状況である。

私が演劇研究のために 2016 年に渡英した際には、難民が母国で感じた不自由と不寛容を物語る演劇や、シリア難民自らが自らの苦境をユーリピデスの「トロイアの女たち」に仮託して演じた演劇を観て、イギリスの人々の難民問題に関する深い関心を目の当たりにしてきた。それだけに、戦火のウクライナから命からがら避難してきた人々に対して支援の手を差し伸べる一方で、今なお危機にある様々な国々からこちらに命を賭して英国に渡ってきた人々を門前払いするというイギリス政府の政治的判断には大きな違和感を感じざるを得なかった。6 月 20 日は国連が定める「世界難民の日」であり、今年世界の難民の数は 1 億人を超えてしまったという。我々が支援の手を差し伸べる時には、さらにその向こうにも手が届かない存在がいることを忘れてはならないのだ。

2022年度第1学期単位認定試験について

試験期間および実施方法

(1) Web受験方式

(「正多面体と素数(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」「量子化学(’19)」以外の全科目)

試験期間: **2022年7月15日(金)9時～7月26日(火)17時**(1科目50分、期間中いつでも受験可^{※1})

※1 学習センター等で受験する場合、原則として「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要があります。

受験方法: システムWAKABAトップ右側「学内リンク」から「Web単位認定試験システム」(<https://shiken.ouj.ac.jp>)にアクセスして受験します。

(2) 郵送受験方式

(「正多面体と素数(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」「量子化学(’19)」のみ)

試験期間: **2022年7月15日(金)～7月26日(火)《必着》**

受験方法: 7月上旬、大学本部から発送される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて解答を作成し、郵送により提出します。
(提出方法詳細は問題用紙等に同封します。)



詳細は「学生生活の葉」(教養学部p.68～p.77, 大学院p.67～p.76)や放送大学ウェブサイト「2022年度第1学期単位認定試験についてのご案内」

(<https://www.ouj.ac.jp/news/2022/information/webshiken.html>)もご確認ください。

受験できるのは、履修科目(再試験含む)のうち、通信指導に合格した科目に限ります。

Web単位認定試験体験版

Web単位認定試験システム(<https://shiken.ouj.ac.jp>)内に、Web単位認定試験体験版を公開しています。実際の受験時にスムーズに操作できるよう、**まだ体験版の操作を行っていない方は、試験期間前までに、受験に使用する予定の端末から、体験版の操作を必ず行ってください。**(操作マニュアルはWeb単位認定試験システム内に掲載しています。)

ログインID・パスワードについて

◆システムWAKABAおよびWeb単位認定試験システムにアクセスするには、ログインIDとパスワードが必要です。新入生の方は、**ログインID・初期パスワードは入学許可書に記載されています。**(初回ログイン時は必ずパスワード変更を行ってください。)

◆システムの不正使用を防ぐため、初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。

◆パスワードを忘れてしまった場合などログインできない方は、学習センター、学生サポートセンター(電話:043-276-5111)、教務課教務係(メール:kyomuka@ouj.ac.jp)のいずれかまでご連絡ください。

◆**試験期間直前～試験期間中は、お問い合わせが集中する可能性がありますので、ログインID・パスワードの確認およびシステムの操作確認は早めに行っておいてください。**

通信指導の添削結果と受験票発送

通信指導の添削結果が6月末頃に放送大学本部から科目ごとに送付され、同時期に別送される「受験票」によって合否が通知されます。なお、添削結果より先に受験票が届く場合もあります。

※学部・大学院ともに択一式科目(併用式科目の択一部分)は7月11日(月)まで、記述式科目(併用式科目の記述部分)は7月14日(木)までに添削結果が届かない場合は、放送大学本部《TEL043-276-5111(学生サポートセンター)》にご連絡ください。

成績通知

成績発表は8月下旬以降、システムWAKABAと郵送にて行います。

成績評価は、**A(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)**

D(59～50点)E(49～0点)の6区分となり、C以上が合格です。



科目登録と継続入学について

学期ごとに忘れずに次の手続きを行ってください。これを忘れると次学期に科目を履修していない状態になってしまったり、学籍が切れてしまいますので十分留意してください。



	科 目 登 録	継 続 入 学
対象学生	◎引き続き次学期に学籍がある方 ●全科履修生 ●選科履修生(2022年4月入学) ●修士全科生 ●修士選科生(2022年4月入学)	◎今学期(9月末)で学籍が切れる方 ●選科履修生(2021年10月入学) ●科目履修生(2022年 4月入学) ●修士選科生(2021年10月入学) ●修士科目生(2022年 4月入学)
申請期間	◎郵送による科目登録 2022年8月15日(月)～ 8月30日(火)本部必着 ◎システムWAKABAによる科目登録 2022年8月15日(月)～ 8月31日(水)24時	◎郵送による出願 第1回：2022年6月10日(金)～8月31日(水)私書箱必着 第2回：2022年9月 1日(木)～9月13日(火)私書箱必着 ◎システムWAKABAによる出願 第1回：2022年6月10日(金)～8月31日(水)24時 第2回：2022年9月 1日(木)～9月13日(火)17時
提出書類	科目登録申請票	出願票
注意事項	※科目登録申請期間 科目登録申請期間と学生募集期間とは異なりますのでご注意ください。	◎入学学期当初から面接授業の登録申請をしたい方は、システムWAKABAから出願してください。 ◎次学期に再試験のみ受験を希望する方も継続入学の手続きが必要です。

2023年度卒業研究履修について

□卒業研究は全科履修生の選択科目です。履修開始は2023年度第1学期からとなります。
(履修期間は1年間)

□卒業研究は、指導教員から直接指導を受けることのできる貴重な機会です。大学におけるこれまでの学習の総仕上げとして主体的な学習を実行する卒業研究の履修にチャレンジしてみませんか！

①申請条件

2022年4月時点で2年以上在学し、62単位以上を修得した者

②申請期間【新規履修希望者】

2022年8月12日(金) ～ 8月18日(木)(本部必着)

③指導教員の希望

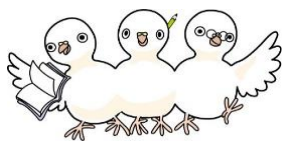
専任教員の他に、所属学習センターの客員教員を含む居住地近隣の大学教員を希望することができます。

ただし、専任教員以外の指導教員については指名できません。所長面談を必要としますので申し出てください。

※「卒業研究履修の手引～2023年度履修者用～」は、事務室にて配付しています。

※所長面談の予約申し込みは、7月末までをお願いします。

2022年度第2学期面接授業について



- ◇ 2022年度第2学期の面接授業科目登録申請期間は**8月15日(月)～8月31日(水)**までとなっております。
- ◇ システム WAKABAにログインして登録申請を行ってください。
- ◇ 受講定員を上回る申請があった場合、抽選となります。
- ◇ 「**科目登録決定通知**」で確認し授業料を納入の上、受講することになりますのでご注意ください。

科目区分		科目名	担当講師	開講日
社会と産業	導入	「現代社会と憲法」	棟久 敬	10/15(土)、10/16(日)
外国語	基盤	「英文読解のための技術」	大西 洋一	10/15(土)、10/16(日)
社会と産業	専門	「食品加工学」	熊谷 昌則	10/22(土)、10/23(日)
情報	専門	「信号処理の基礎～音の解析～」	田中 元志	10/22(土)、10/23(日)
生活と福祉	導入	「高齢化社会とリハビリテーション」	若狭 正彦	10/29(土)、10/30(日)
情報	専門	「POV-Rayプログラミング」	鈴木 一史	10/29(土)、10/30(日)
情報	導入	「Zoomと情報技術の基礎」	横山 洋之	11/5(土)、11/6(日)
人間と文化	専門	「秋田藩政の展開と藩主」	清水翔太郎	11/12(土)、11/13(日)
心理と教育	専門	「睡眠とメンタルヘルス」	綾部 直子	11/19(土)、11/20(日)
一般	基盤	「新・初歩からのパソコン」	佐々木芳宏	11/19(土)、11/20(日)
生活と福祉	専門	「妊娠中からの子育て支援」	工藤 直子	11/26(土)、11/27(日)
心理と教育	専門	「心理学実験2」	中野 良樹	11/26(土)、11/27(日)
自然と環境	専門	「地球と環境の分析化学」	福山 繭子	12/3(土)、12/4(日)
心理と教育	専門	「これからの算数・数学教育」	加藤 慎一	12/10(土)、12/11(日)
生活と福祉	専門	「衣生活を考える」	堀江さおり	12/10(土)、12/11(日)
人間と文化	導入	「ヴェネツィアの都市と美術」	佐々木千佳	12/17(土)、12/18(日)

※なお、面接授業は原則対面で行いますが、新型コロナウイルスの感染拡大等不測の事態発生時は、閉講またはWeb(Zoom)授業に切り替わる場合がありますので、シラバスを確認の上、登録を行ってください。

また、新型コロナウイルス感染防止の観点から、募集定員の収容人数制限をしております。
その他、手指の消毒、マスクの着用はもちろんのこと、昼食時の黙食の励行等3密を避ける様々な感染予防対策を取っておりますので、受講の際はご協力をお願いいたします。

2022年10月入学生の募集について

【第1回募集】

- ◆出願受付期間【郵 送】 6月10日(金)～8月31日(水)まで(本部必着)
- ◆出願受付期間【インターネット】 6月10日(金)～8月31日(水)24時まで

【第2回募集】

- ◆出願受付期間【郵 送】 9月1日(木)～9月13日(火)まで(本部必着)
 - ◆出願受付期間【インターネット】 9月1日(木)～9月13日(火)17時まで
- ※第1回募集と第2回募集の違いは、「合格通知書兼払込取扱票」の送付時期及び印刷教材の発送時期・学費納入期限です。
詳細は募集要項(<https://www.ouj.ac.jp/hp/nyugaku/>)をご覧ください。



◎2023年度4月入学博士・修士全生科の出願期間は8月15日(月)～8月26日(金)消印有効です。

筆記試験・面接等の入学試験があります。特別措置・事前審査等を含む詳細については学生募集要項をご覧ください。

【放送大学】大学説明会のご案内

放送大学の大学説明会を、秋田学習センターで開催いたします。

第1回 2022年7月30日(土)午後1時30分～午後3時
第2回 2022年8月20日(土)午後1時30分～午後3時

大学説明会の案内要項を今回送付の機関誌「ばっけ」第102号に同封しております。学生の皆様の友人・知人・職場の方々に同封の案内要項を渡し、紹介して頂ければ幸いです。

放送大学の良さを、ひとりでも多くの方に伝えていただきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

秋田学習センター所属の在籍者(2022年度第1学期)状況について

2022年6月末日における当センター所属の在籍者状況についてお知らせします。在籍者数は**教養学部604名と大学院30名の計634名です**。ここ数年では最も多い在籍者数となっております。前学期に引き続き10代、20代の若年者数の増加が顕著になっております。なお、特別聴講生108名は放送大学にも籍を持つ県内他大学に在籍している学生です。また、特別聴講生は区分上、大学の所在地である秋田市の学生(416名)に含まれております。

大学生

全科履修生	378名
選科履修生	86名
科目履修生	32名
特別聴講生	108名
合 計	604名

性別

男 性	279名
女 性	355名
合 計	634名

年令

10代	115名
20代	123名
30代	62名
40代	88名
50代	95名
60代	87名
70代以上	64名
合 計	634名

大学院生

修士全科生	7名
修士選科生	19名
修士科目生	4名
合 計	30名

職業別

教員	21名
公務員・団体職員等	62名
会社員等	97名
自営業・自由業	24名
農林水産業等	1名
他大学・専門学校等の学生	152名
アルバイト等	20名
パートタイマー	38名
看護師等	67名
定年退職者	63名
専業主婦(夫)	28名
無職(専業主婦・定年退職者以外)	35名
その他	26名
合 計	634名

市町村別

秋田市	416名	にかほ市	10名	八峰町	3名
大仙市	34名	大館市	8名	大潟村	3名
由利本荘市	30名	美郷町	7名	鹿角市	2名
横手市	22名	八郎潟町	7名	井川町	2名
能代市	18名	仙北市	6名	藤里町	1名
湯沢市	14名	羽後町	5名	三種町	1名
潟上市	13名	北秋田市	5名	東成瀬村	1名
男鹿市	12名	五城目町	4名	県外	10名
				合 計	634名

ゼミ開講のお知らせ



今年度も、秋田学習センター客員教員によるゼミを開講しております。
客員教員の専門分野におけるテーマについて研究し、共に学ぶ場です。
客員教員によるゼミの予定は、毎月秋田学習センターウェブサイトに掲載
しております。また、秋田学習センターで予定表を配付しておりますのでご利
用ください。(発熱等体調がすぐれない場合は、来所をお控えください。)

◆熱の流れを可視化するゼミー数値シミュレーションによる熱移動◆

田子 真 先生

放送大学客員教授・秋田大学大学院理工学研究科教授

【月1回、主に金曜日13:30～15:00】

熱の流れ・移動は目に見えませんが、数値シミュレーションにより移動熱量や温度分布を可視化することができます。本講義では、熱移動のメカニズムを学ぶとともに、簡単な熱移動問題を取り上げて数値シミュレーションの基礎を学習します。



◆ショウガイとリハビリテーションゼミ◆

―身の回りにあるショウガイについて考えてみたいと思います。―

若狭 正彦 先生

放送大学客員教授・秋田大学大学院医学系研究科教授

【月1回、水曜日13:00～15:00】

本ゼミでは、私たちの身の回りにある(存在していた)ショウガイに関連した事柄(社会的、身体的等)についてみんなで考え話し合ってみてみたいと思っています。



◆イギリス文化ゼミ◆

大西 洋一 先生

放送大学客員准教授・秋田大学教育文化学部准教授

【月1回、基本的に最終火曜日13:30～15:00】

受講生が選んだイギリスの歴史・文化・社会を扱った本の内容に関する報告を出発点として、イギリスの多種多様な姿についてみんなで考えていきたいと思っています。





◆現代思想ゼミ◆

小倉 拓也 先生

放送大学客員准教授・秋田大学教育文化学部准教授

【月1回、主に火曜日または金曜日13:30～15:00】

現代思想の主要なテーマについて、講師が講義形式で話題提供をし、講師と受講者のあいだで、そして受講者同士で議論を深めることを目指します。また、取り上げるテーマは、受講者の関心や希望を反映させるつもりです。



◆消費生活ゼミ◆

堀江 さおり 先生

放送大学客員准教授・秋田大学教育文化学部准教授

【月1回、主に水曜日13:30～15:00】

日常生活は「消費すること」で構成されています。「消費すること」に含まれる内容は多岐にわたっており、知らなければ不利益を被ってしまう状況も多くなっています。快適な生活や理想的な生活を送るために、皆さんと一緒に消費生活について話し合っていきたいと思っています。



※参加希望の方は、事務室へお申し込みください。

放送大学秋田学習センター

ご予約等は、☎018-831-1997、akita-aktsc@ouj.ac.jp

学校医による健康相談について

学校医の伏見雅人先生による健康相談を、月1回水曜日

(14:00～16:15)秋田学習センターにおいて行っております。

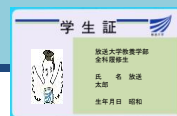
健康相談日は、毎月秋田学習センターウェブサイトに掲載しております。

また、秋田学習センターで予定表を配付しております。

相談を希望される方は、事前に予約をお願いします。

連絡先: ☎018-831-1997、akita-aktsc@ouj.ac.jp

事務室からのお知らせ



学生証を受け取りに来てくださいね。

ON AIR web について

2021年度第1学期卒業生佐藤貴之さんの卒業生代表謝辞が、2022年3月に「私の放送大学」(文部科学教育通信)に掲載されました。また、このたび2022年5月に「ON AIR web」へ転載されましたのでご案内いたします。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/>
ぜひ、ご覧ください。



夏季臨時閉所のお知らせ

2022年8月12日(金)～8月14日(日)は、秋田学習センター夏季臨時閉所となっております。学生の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

視聴学習室・図書室からのお知らせ

学生図書リクエストについて

放送大学附属図書館に未所蔵で、放送大学における勉学に必要な図書をリクエストできます。

受付期間:2022年4月28日(木)～2022年12月22日(木)

[対象]学部 全科履修生・選科履修生
大学院 修士全科生・修士選科生・博士全科生

[リクエスト条件]

- ・一人月1点
 - ・月末締め選定のため、申し込みから利用可能まで約2ヶ月かかります。
 - ・諸条件により、購入不可になる場合があります。
 - ・購入が決定した書籍の所蔵は、放送大学附属図書館となります。
- 貸出を希望される方は、放送大学附属図書館にお申し込みください。



※学生図書リクエスト申込票は、秋田学習センターにありますのでご希望の方はお申し出ください。

閉講科目の視聴について

2021年度末で閉講した科目の放送教材は、今学期再試験を受ける方が利用できます。利用を希望する方は、図書受付にお申し出ください。

面接授業参考図書・通信指導参考図書について

秋田学習センターで行われる面接授業の参考図書、通信指導参考図書を配架しています。利用は、図書室内のみとなります。

視聴学習室・図書室臨時閉室のお知らせ

2022年8月3日(水)～8月5日(金)は、秋田学習センター視聴学習室・図書室において蔵書点検を行いますので視聴学習室・図書室は臨時閉室となります。学生の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



今後のスケジュール



7月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 2・3日 面接授業 『心理学実験3』
『はじめての天文学』
- 9日 公開講座 「地域振興の先駆者 賀藤景林の足跡と遺産」
会場：能代市立能代図書館
- 9・10日 面接授業 『中国・台湾映画における「日本」』
『心理学実験3』
- 15～26日 学部・大学院単位認定試験(Web・郵送受験方式)
- 22日 臨時閉所日
- 26日 臨時閉所日
- 30日 第1回大学説明会(13:30～15:00)

8月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 3～5日 視聴学習室・図書室臨時閉室日(蔵書点検のため)
- 12日 卒業研究履修申請(～8/18)
- 12～14日 センター閉所日(夏季臨時閉所)
- 15日 2023年度大学院博士・修士全生出願受付開始(～8/26消印有効)
- 15日 第2学期科目登録申請受付(～8/30郵送、～8/31Web)
- 20日 第2回大学説明会(13:30～15:00)

9月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 1日 第2学期 学部、修士選科・科目生出願受付開始(第2回、～9/13)
- 3日 センター閉所日(作業停電のため)
- 24日 公開講座 「～ふるさとの「誇り」を目指して～
まんが美術館の新たな挑戦!!」
会場：横手市増田地区多目的研修センター
- 25日 休学・復学・退学届提出締切(郵送必着)
- 29・30日 視聴学習室・図書室閉室(新学期準備のため)
- 30日 休学・復学・退学届提出締切(システムWAKABA)

- …閉所日
- …単位認定試験日(7/15～7/26)
- …視聴学習室・図書室閉室

10月

- 1日 第2学期開始
- 2日 学位記授与式、入学者の集い(※視聴学習室・図書室は閉室)
- 15日 公開講座 「阿仁鉱山と院内銀山の結びつき」
会場：秋田県立博物館
- 15・16日 面接授業 『現代社会と憲法』
『英文読解のための技術』
- 22・23日 面接授業 『食品加工学』
『信号処理の基礎 ～音の解析～』
- 29・30日 面接授業 『高齢化社会とリハビリテーション』
『POV-Rayプログラミング』

※予定は変更する場合がありますので、学習センターウェブサイト等の広報で最新情報を確認するようお願いいたします。

